

第 53 回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成 20 年 6 月 12 日 (木) 14 時 00 分～16 時 00 分

II 出席者 議 長 岩崎学長

評議員 工藤、腰塚、泉、波多野、吉武、谷川、山田、水林、坪井、山田(秀)、赤平、田中、清水、中山、山田(宣)、北脇、堀、金井、吉田、海老原、大塚、阿江、西川、竹内、溝上、植松、宇川、井上、石田、菊地、五十殿、吉川、庄司、加賀、佐藤、深水

代理出席 福島生命共存科学専攻長(田瀬生命環境科学研究科長代理)、
土井教授(本澤社会・国際学群社会学類長代理)、
大保教授(板野学術情報メディアセンター長代理)

III 議 題

〔審 議〕

- 1 中期目標期間の評価における実績報告書等について----- [審資料 1]
- 2 国立大学法人筑波大学における国等が公募する補助金等経理事務処理要項の一部改正について ----- [審資料 2]
- 3 大学教員の懲戒について ----- 【回収資料】[審資料 3]

〔報 告〕

- 1 平成 21 年度概算要求重点事項について----- [報資料 1]
- 2 技術職員に関する組織体制の整備について----- [報資料 2]
- 3 平成 19 年度採択プレ戦略イニシアティブ中間評価結果について----- [報資料 3]
- 4 学生の懲戒処分について ----- 【回収資料】[報資料 4]
- 5 学生宿舎リニューアルの検討方針について----- [報資料 5]
- 6 留学生に係る奨学団体への対応について----- [報資料 6]
- 7 筑波キャンパスCO₂排出量・エネルギー使用量実績(平成 20 年 4・5 月分)について [報資料 7]
- 8 夏の省エネルギー・キャンペーンの実施について----- [報資料 8]
- 9 第 25 回経営協議会報告 ----- [報資料 9]
- 10 人間総合科学研究科セミナー「地球温暖化の影響」について----- [追加資料 1]

〔その他〕

- 1 筑波大学 2020 ビジョンについて
- 2 学長選考会議について

IV 議 事

〔審 議〕

- 1 吉武副学長から、審議資料 1 に基づき、中期目標期間の評価における実績報告書等の概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、本評議会以降、修正等があった場合は、その取扱いを学長に一任することが併せて承認された。

- 2 審議資料 2 に基づく審議の結果、原案どおり承認された。

- 3 学長から、本件については平成 20 年 4 月 17 日開催の第 51 回教育研究評議会で設置した調査委員会において調査を行い、学長に対して調査報告書が提出された旨の説明があった。

次いで、調査委員会委員長である波多野副学長から、審議資料 3 (回収資料) に基づき、同調査委員会の調査結果について説明があり、審議の結果、原案どおり、懲戒処分以外の処分である「訓

告」とすることが承認された。

引き続き、学長から、医療は国民の健康に直結するきわめて重要なものであり、医師法に違反する行為を行ったことはその責務を怠ったもので誠に遺憾であり、今回の事態を真摯に受け止め、今後、医療が適切に行われるようより一層の徹底を図るよう指示があった。

〔報告〕

1～3 報告資料1～3に基づき、それぞれ報告があった。

4 腰塚副学長から、報告資料4(回収資料)に基づき、懲戒対象学生の懲戒対象行為の概要、並びに、学群教育会議の審議を経て、「停学3か月」の懲戒処分が決定した旨の報告があった。

引き続き、学長から、「停学」の処分は学生生活に大きな影響を与えることを周知徹底し、懲戒の対象となる行為が起きにくい環境を醸成するよう指示があった。

5～10 報告資料5～9及び追加資料1に基づき、それぞれ報告があった。

〔その他〕

1 学長から、筑波大学2020ビジョンの策定については、学内合意形成、次期中期計画の策定及び次期学長選考を考慮し、9月の教育研究評議会において一次案を示したうえで、引き続き、次期学長予定者ともすり合わせながら改訂作業を行い、来年3月頃までの公表を目指すこととしたいので協力願いたい旨の要請があった。

2 吉武副学長から、平成21年4月1日から任期が始まる次期学長予定者を選考する第1回目の学長選考会議を、6月26日(木)に開催することとなった旨の説明があった。

【議事における意見等】

〔報告〕

2 技術職員の将来像を明確化するとともに、全学的見地から技術職員を活用する必要がある旨、また、指揮命令系統の一層の組織化・体系化を図る必要がある旨等の意見があった。

5 資金の借入れを行わずに措置できる予算の範囲内でリニューアルを行うべきである旨の意見があった。

また、学生宿舎の老朽化が学生の健康に及ぼす影響についても調査してほしい旨の意見があった。

8 泉副学長から、筑波キャンパスをエリア分けし、それぞれのエリアにおける電力使用量を可視化するなどして、構成員の電力使用に対する認識を高めながら節電の取り組みを進めていきたい旨の付言があった。

また、当該キャンペーンと併せて、教職員及び学生が通勤・通学に使用する自動車から排出されるCO₂の削減を図るためのキャンペーンを実施してはどうかとの意見があった。

〔その他〕

1 筑波大学2020ビジョンについて、

- ・ 次期学長を拘束するものであってはならない
- ・ 9月に現執行部が第一次案を示すことは意義がある
- ・ 2020ビジョン最終案の公表は、次期学長就任後に行っても良いのではないかと

との意見があった。

以上